



平成 29 年 7 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
代表者名 代表取締役会長兼社長 石川 隆一
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 執行役員 管理部長 石見 紀生
(TEL. 03-5207-6760)

当社子会社の元役職員による不正行為に関するお知らせ

このたび、誠に遺憾ではございますが、当社の中国子会社である無錫三和塑料製品有限公司（以下「無錫三和」といいます。）の元役員（当社元執行役員）および元幹部社員が不正行為を行っていたことが判明いたしました。

当社は、本件の事実関係の解明に鋭意取り組んでおりますが、現時点で判明している内容および今後の対応等につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

本件につきましては、株主、投資家、市場関係者の皆様ならびにお取引先その他すべてのステークホルダーの皆様にご心配とご迷惑をおかけすることとなりましたことを謹んでお詫び申し上げます。

記

1. 不正行為の概要

本件は、本年 3 月に無錫三和の複数の従業員から同社の役職員に関する不正行為の疑い等の申告（内部告発）があり、それをきっかけとして、本年 5 月より本格的に社内調査を開始し、同社の元役員および元幹部社員による不適正な経費使用が判明し、また、生産設備の不正使用や棚卸在庫の横流しなど背任に類する行為等の疑義が発覚いたしました。不正行為の全容につきましては、現在当社グループの役職員ならびに現地の外部専門家（弁護士および会計士）により鋭意調査中でございます。

また、上記不正行為に関し、無錫三和の元役員および元幹部社員に対する中国における刑事告訴および損害賠償請求を検討しており、当社といたしましては厳正な対応を行う方針であります。

2. 業績に与える影響

上記 1. の不正行為につきましては、現在全容の解明に向け調査・確認中であります。その調査結果および業績に与える影響につきましては判明次第速やかにご報告いたします。

また、過年度の有価証券報告書等の訂正の必要性等につきましても、判明次第速やかにご報告いたします。

3. 今後の対応

当社は、無錫三和を海外事業の中核子会社と捉えており、上記の不正行為が発生したことを真摯に受け止め、同社の従前からの体制・風土を刷新し、より良い会社として建て直していくために、すでに以下の事項に着手するとともに、今後もグループをあげて同社の改革に取り組む所存であります。

① 組織・人事の抜本的な見直し（実施済み）

不正に関与したと見られる役職員の解雇や親会社からのマネジメント人材の派遣、不正の起らない相互牽制機能が働く組織体制への変更等を実施しております。

② 社内ルールおよび運用管理体制の全面的な見直し（実施中）

再度不正が起こらないように各種決裁手続きの厳格化など社内ルールを全面的に見直すとともに、ルールの遵守を徹底し、遵守状況を随時確認できる体制の構築を進めております。

③ 工場機能の見直しおよび生産・品質管理体制の改善・強化（実施中）

お客様およびお取引先からの信頼回復に向けて、納期の改善と不良率の低下を目指し、工場機能を全面的に見直すとともに、整理整頓の徹底、業務効率の向上等に取り組んでおります。

また、当社は、不正行為の疑いが発覚して以降社内調査を継続してまいりましたが、今後、不正行為の全容解明のため、速やかに外部の有識者等を構成員に含む調査委員会を設置し、客観的証拠に基づく不正行為の実態の正確な把握など徹底した調査を行う方針であり、調査結果を踏まえ、適切な再発防止策を策定し実施してまいり所存でございます。

調査委員会の詳細および今後の不正調査の結果につきましては、確定次第速やかにご報告いたします。

以上